

たすけ愛♡はしもと だより

第14号
令和3年7月

発行 橋本市社会福祉協議会 〒648-0072 橋本市東家1-3-1 TEL33-0294



「君来たひろば」

きみきた
紀見北8区(紀見峠・沓掛・柱本・
けがの やぐらわき きみがおか こうようだい
慶賀野・矢倉脇・紀見ヶ丘・光陽台・

全国的に高齢化が進んでいますが、このことは橋本市でも同様です。そんな中、これからも自分たちが住む地域で、安心して暮らし続けられるためには、いざという時に駆けつけてくれたり、ちょっとしたお手伝いを頼めるような地域であるために、日ごろから声をかけあったり、気にかけてあったりするような地域づくり「つながりのある地域」が大切です。
そのため、地域づくりの基盤となる「協議体」を市内各地区に設置し、住民のみなさんが主体となって話し合いが進められています。現在、9地区に第2層協議体が設置されています。協議体の進捗状況や地域の取組みなどを紙面にてご紹介します。

みついだい
三石台)が、一緒になって、地域で助

け合い・支え合う仕組みづくりをはじめめるため「君来たひろば」(第2層協議体)が誕生しました。

紀見北地区は、約3,700世帯、約9,000人(令和2年9月30日現在)。在来地域と大規模開発による新興住宅が広がる一方、自然と歴史にも恵まれた地区です。

君来たひろばの構成メンバーは、区長・自治会長・民生委員・老人クラブ・げんきらりく教室等、約20名です。その中から5人の生活支援コーディネーター(SC)を決めて、世話人さんが中心となって運営されています。



5人の生活支援コーディネーターさんです。
左上から、大山さん、下坂さん、阪口さん
左下から浦さん、森脇さんです。

5人のSC

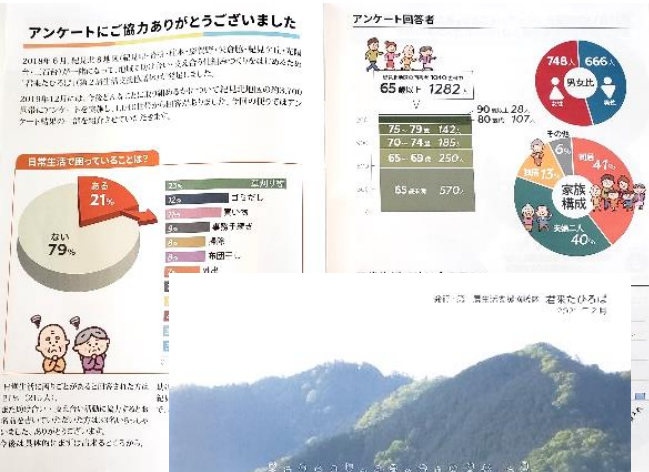
強いリーダーシップでみんなを引っ張ってくれる浦さん。リーダーを支えてくれる下坂さん、森脇さん、阪口さん。若い世代の視点での考え方やアイデアをだしてくれる大山さん。うまくバランスが取れている仲良し5人です。

協議体を開催する前月には、毎回、世話人さんが集まり、協議体の運営について確認し合っています。いつも和やかな雰囲気です。

アンケート調査

まず始めに、全ての世帯を対象に、生活状況を把握するアンケート調査が行われました。

高齢者の方が、日常生活の中で、どんなことに不安や悩みを抱えているのか、地域毎に把握することができました。それと同時に若い世代の方からもご意見をいただくことができ、関心・興味をもってもらうきっかけになったのではないかと思います。



まずはやってみよう！

アンケート調査をもとに、どんなことに取り組めるか等、何度も話し合いを積み重ねてきました。

ある時、世話人さんから「一人暮らし高齢者の方の不安や悩み等を全て解決することはできません。ただ、見守りや関わる層が多ければ多いほど、いざという時に早急に対応することができるようではないか。最近では、新型コロナウイルスの

影響で一人暮らしの方の孤独死・孤立死等の報道も見聞きします。今の状況で、訪問するということは大変難しいですが、電話での訪問というのをやってみませんか？」といったことがキツカケとなり、メンバーにも同意を得て、「君来たひろば福祉電話訪問事業」を実施することが決まりました。

現在、活動を始めるための要項の整備や個人情報取り扱い等について協議しているところです。

先駆的事例から学ぶ

住民のみなさんが主体となって行う初めての事業です。「電話訪問」は、あまり聞きなれない言葉で不安や心配ごとながたくさんあります。

世話人さんから、「既に電話訪問事業を行っている他県の社会福祉協議会があります。色々教えてもらえませんか？」ということで、早速、社会福祉協議会に連絡しました。

まん延防止等重点措置区域に指定されていることもあって、近々、オンラインでの交流会を開催することが決まりました。



▲オンライン交流会がスムーズに行えるため、事前にオンライン会議を行いました。

つながりSNS

福祉電話訪問事業を進めていくことで、様々な人や地域のみなさんが関わってくれることとなります。取り組みを行いながら築いていく、人と人とのつながりが、礎となってあらたなステップに発展すると思っています。今後も、一緒に歩んでいきたいと思えます。

▲アンケート結果やコーディネート考案等を掲載した手作りの広報誌（11ページ）を8区内に全戸配布しました。